

令和3年第2回北海道議会定例会〔予算特別委員会・総括質疑〕開催状況

開催年月日 令和3年7月1日(木)
 質問者 日本共産党 宮川 潤 委員
 担当部課 建設部住宅局住宅課

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>三 道営住宅について (一) 同性パートナーの入居について 道営住宅への同性パートナーの入居について、各部審査で憲法第14条法の下の平等からも認めるべきだと求めました。道営住宅条例第6条第1号は、同居について内縁関係を想定したものとのことだが、条文上、同性パートナーは除外されておらず、知事が解釈を変えれば、同性パートナーの入居は可能になるのではないかと考えます。 7月にも「道人権施策推進基本方針」が改定される見込みですけれども、道営住宅入居の問題について、今後の検討課題と取り組みについて伺います。</p>	<p>○知事 鈴木 直道(住宅課) 道営住宅の入居者資格についてですが、道では、北海道営住宅条例に規定する同居親族のうち、「婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者」については、法律上の届出をしていないが、男女が協力して夫婦としての生活を営むいわゆる内縁の方を対象としておりまして、同性パートナー同士については定めがなく、今後統一した方針のもとで判断する必要があると考えているところであります。 私としては、今月改定する予定の「北海道人権施策推進基本方針」における性的マイノリティに関する施策の展開方向について各部局において共有を図り、今後、道営住宅の入居資格も含め、各々の分野の施策に適切に反映をさせていく考えであります。</p>